

ぶらっとサロン**椿**通信 令和3年10月号

今号の椿：桜葉桃色吐息(さくらばももいろといき)
(R3.10.15撮影)



報告:有楽齋

毎週火曜日の午後1時過ぎから午後4時半ごろまで、朝日2丁目集会所で「健康麻雀ミーティング」をワイワイガヤガヤとやっていたのですが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、昨年3月10日から自粛し**現在休局中**です。
本年発行よりタイトルに『椿』を加えました 有楽齋

椿の話題を少々。椿は自家受粉をきらうので、種を蒔いて育てる(実生=みしょう)と親木とは異なる花を咲かせる可能性が高いという特性があります。今号では**自然実生から生まれた品種①**をご案内します。
(※花の名称の赤字は親木・黒字は子です)



西王母(せいおうぼ)

C.j. 'Seiôbo'
淡桃地 紅ぼかし 一重
筒咲き 筒しべ 中輪
長めの筒咲きで中ほどがふくらみ その部分の色が濃い。

江戸末期より金沢に伝わる茶席の名花

※C.j.=Camellia japonica の略



赤西王母 (あかせいおうぼ) /上左

C. j. 'Akaseiôbo'
鮮紅色 一重 筒〜ラッパ咲き
筒しべ 中輪 **「西王母」の自然実生から生まれた品種。**

白西王母 (しろせいおうぼ) /上右

C. j. 'Shiroseiôbo'
白色 一重 筒咲き 筒しべ 小輪
「西王母」の自然実生から生まれた品種



絵姿(えすがた)

C. j. 'Esugata'
紅色地
濃紅色吹掛絞り
八重咲き 中輪
尾張地方の古花



絵日傘(えひがさ)

C. j. 'Ehigasa'
白色地
濃紅色縦絞り 八重
抱え咲き 筒しべ 中輪
別名：吹上絞、田主丸
「絵姿」の自然実生から生まれた品種



不老門(ふろうもん)

C. j. 'Furômon'
synonym: 'Hakubotan'
白色 八重咲き 筒しべ
中〜大輪
京都 霊鑑寺に原木があり
「白牡丹 はくぼたん」と呼ばれている

※synonym =異名、シノニム



華燭(かしよく)

C. j. 'Kashoku'
濃紅色地 白斑入り
八重咲き 筒しべ
中輪
「不老門」の自然実生から生まれた品種



奥佗(おくわび) /上左

Camellia wabisuke
'Okuwabi' 極淡桃色
肉厚 一重 猪口咲き 筒しべ 極小輪 **親不明の自然実生から生まれた品種**

先細りの筒しべと 素直な花形と葉の様子から **茶席の花に好評**



祝鶴(いわいづる) /上中

C.j.'Iwaizuru'
淡桃色地 底白ぼかし 外弁は紅ぼかし
一重 筒〜ラッパ咲き 筒しべ 中輪
親不明の自然実生から生まれた品種



浮御堂(うきみどう) /上右

C. j. 'Ukimidô'
淡桃色地 紅色吹掛け〜小絞り 宝珠咲き
中折れ弁 中輪
親不明の自然実生から生まれた品種